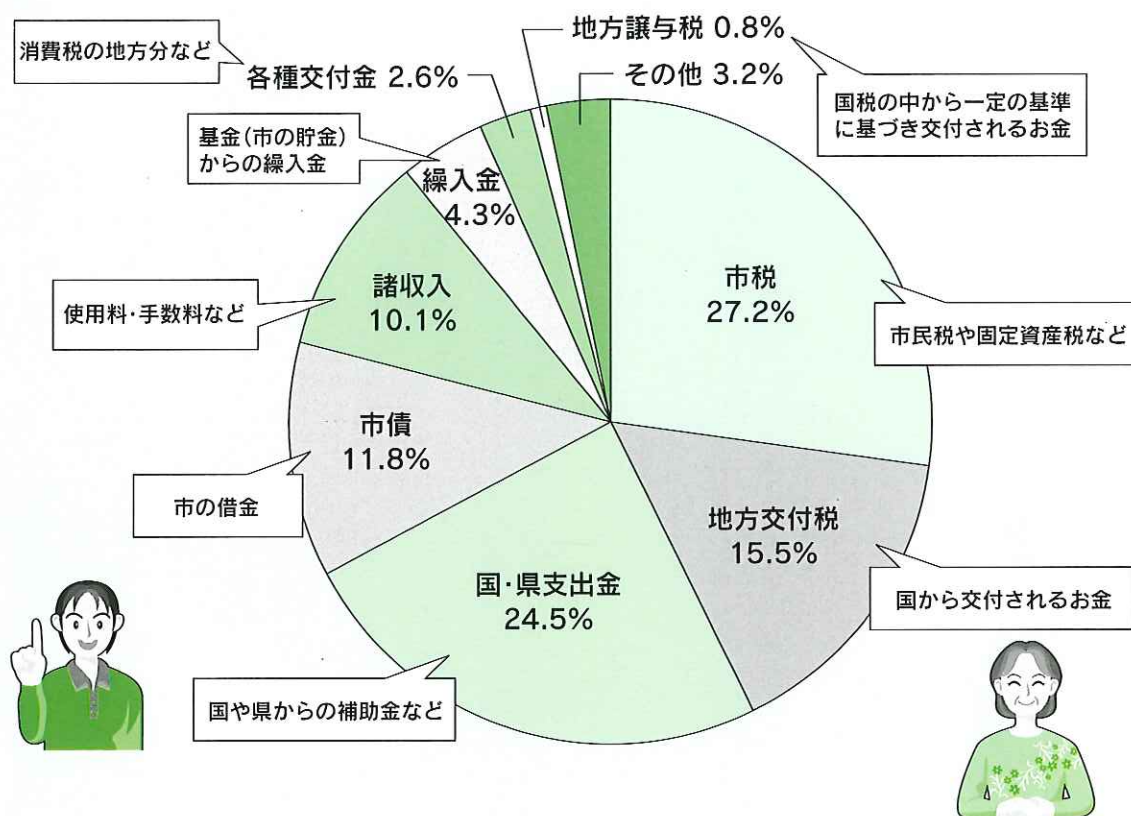


■平成23年度一般会計当初予算の歳入の状況(予算規模370億円)



当初予算の概要

平成23年度の一般会計当初予算の概要と、審査における議会からの主な質疑、意見をお知らせします。

予算の概要

平成23年度の一般会計当初予算の予算規模は370億円で、前年度と比較して、32億3,000万円の増、伸び率は9.6%となっています。

歳入面での主な増減は、景気低迷の影響による市税の減、大型建設事業による市債の増など、歳出面での主な増減は、学校給食センターや多目的スポーツ広場の建設による教育費の増、新駅前団地の建設終了などによる土木費の減などです。

また、中心市街地再開発事業や本町アパート(仮称)整備事業などの「中心市街地の活性化」、子宮頸がん予防対策事業や第2子以降保育料無料化などの「子育て支援の充実」などについて、重点的に予算を配分しています。

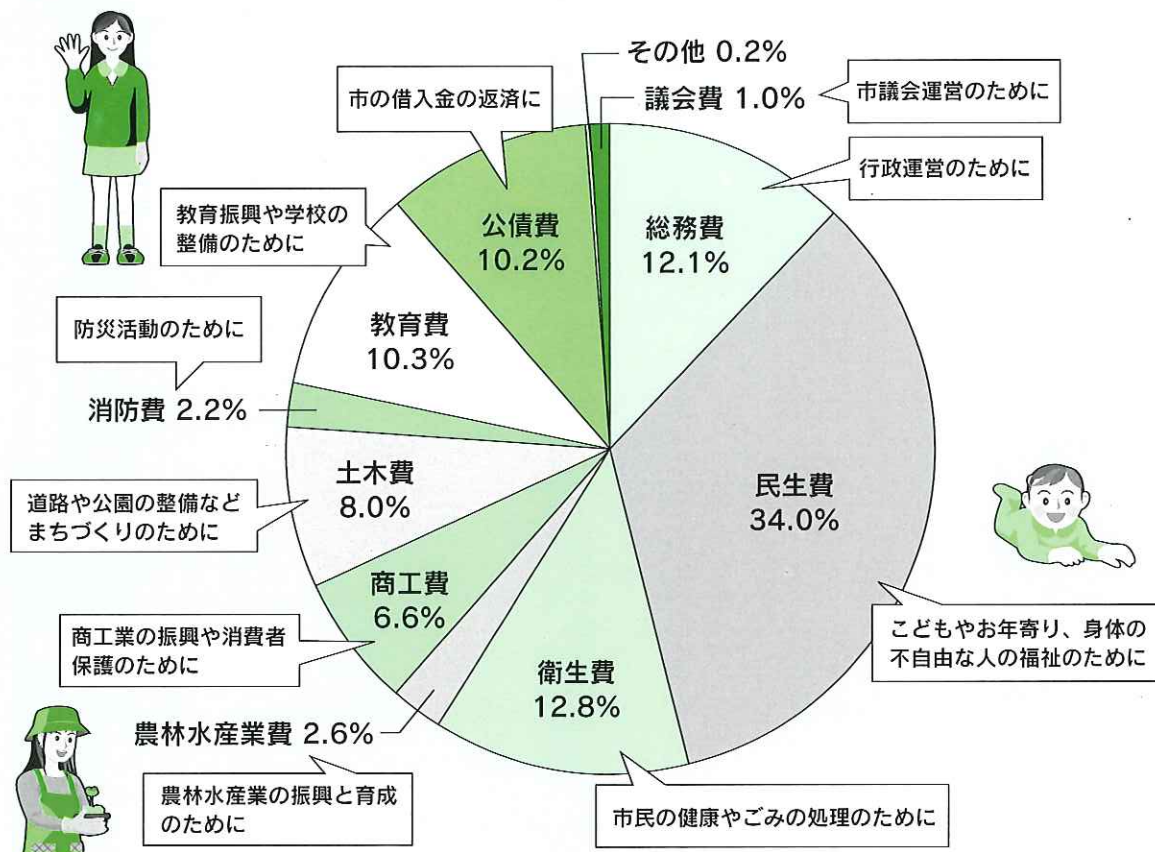
議会からの質疑・意見

一般会計予算特別委員会の分科会審査における委員からの主な質疑、意見は次のとおりです。

□財政部

多くの大型建設事業が控えている中で、安定した財政運営を堅持

■歳出の状況(目的別)



していくための指針を示す必要性を指摘。理事者からは「平成22年度の決算を整理した段階で、今後10年程度の財政見通しを策定し、必要であれば新たな財政健全化計画を策定する」との答弁。

■商工観光部
中心市街地再開発事業について、大村の「顔」となるような、コンセプトを明確にした取り組みを行うよう要求。

■市民生活部
新規事業である住民主導型地域活性化事業について、交付地区の細分化や交付金を使用しなかった場合の年度繰越し等を要求。理事者からは「23年度に検討を行い、改善できる部分については、24年度から対応したい」との答弁。

■福祉保健部
健康診査事業について、がん検診の費用対効果を検証するよう要求。

■都市整備部
道の駅「長崎街道鈴田峠」整備事業の事業内容について質問。理事者からは「鈴田峠の農産物直売

所等を含め道の駅『長崎街道鈴田峠』として認定を受けるため、隣接する土地を駐車場として整備するものである」との答弁。駐車場の敷地使用料などが徴収できないか検討するよう要求。

本町アパート設計委託料について、1階から3階までの使用方法が明確でないため、その使用方法を明確にし、議会に説明した上で予算を執行するよう要求。

■農林水産部
イノシシ被害対策におけるイノシシ捕獲後の処理の現状と対応について質問。理事者からは「捕獲後の処理は、捕獲者が人力で埋却しており、非常に労力を要している。対応策として、肉の加工・販売は経営的に難しく、清掃センターでの焼却はイノシシの油分で炉を傷めることから、イノシシ処分用の焼却施設を広域で設けるのが適当と考えている」との答弁。

■企画部
市民のつばさ関連事業について、市民が長崎空港を利用しやすくなるよう一層の努力を行うよう要求。